

1. WGにおける検討内容

（1）アクションプラン等のフォローアップ

- 25年度アクションプラン、重点施策パッケージの対象施策による研究開発内容と技術ポテンシャルマップとのマッチング
 - ☆課題解決に向け、推進が不足する技術等を把握
 - ☆施策ごとの目標達成レベルを把握し、ナノテクノロジー・材料に関する技術の達成目標の摺合せを実施
 - ☆各重点技術のロードマップの作成に生かすとともに、必要に応じ、各協議会に対する情報提供、提案を実施

（2）ナノ・材料技術ポテンシャルマップの見直し

- 25年度アクションプランの対象施策による研究開発内容と技術ポテンシャルマップとのマッチング結果を元に追加・修正
- ポテンシャルマップ、縦・横軸整理、技術のグルーピング、達成レベル等の見直し
- 別構成版の作成（例：各協議会との検討用としてICT共通基盤技術WG作成マップとの共通化）

（3）国際ベンチマーク、諸外国政策動向調査

- 重点化された技術に関する国際ベンチマーク分析
 - ベンチマーク指標やベンチマーキング対象とする技術のとりまとめ方の検討
 - WGメンバーからの過去のベンチマーク事例に関する情報提供
- 諸外国におけるナノテク・材料関連技術に関する政策動向の調査

今後のWGの進め方（案）

（４）各戦略協議会との連携

- 協議会からのWGに対する技術検討等の要請に対応
- WGから協議会に対し、課題解決に資する技術情報等をインプット

２．WGのスケジュール

第5回 9月下旬

第6回以降 月1回程度開催

WGの任務

- (1) 第4期科学技術基本計画の第Ⅱ章及び第Ⅲ章に掲げた課題の達成に向け、横断的に活用されるナノテクノロジー・材料の技術を検討する。
- (2) 国内外の技術動向の把握・分析を行い、国際競争力の視点からナノテクノロジー・材料の技術の強化を促進する。

期待される成果

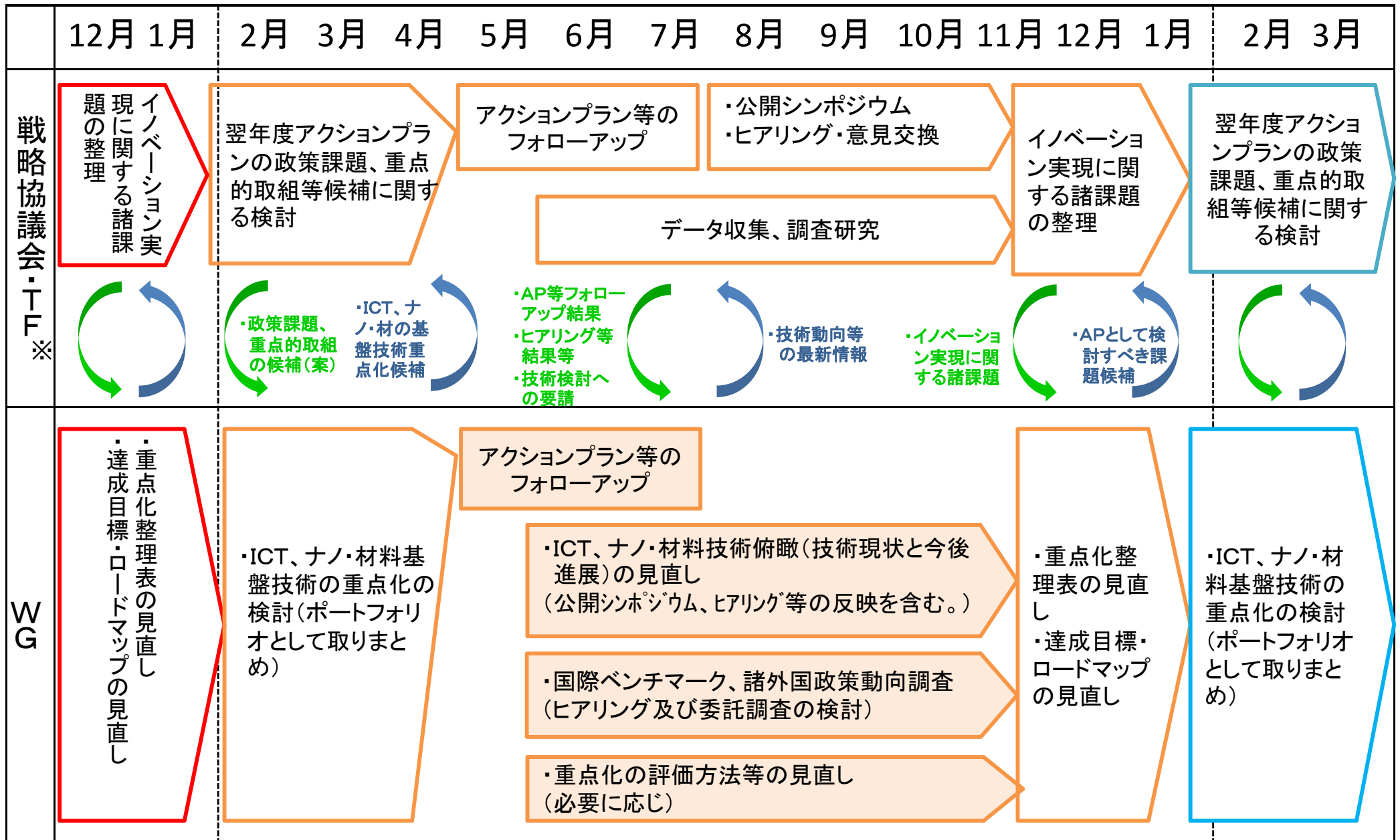
- (1) 第4期科学技術基本計画の第Ⅱ章及び第Ⅲ章に掲げた課題の達成に向け、将来、必要と考えられる技術開発課題を特定し、各科学技術イノベーション戦略協議会等へ提案する。
- (2) 共通基盤技術に関する達成目標・ロードマップを作成し、科学技術イノベーション戦略協議会等と共有し、同戦略協議会等の検討へ生かす。

(ナノ材WG第1回資料2「ナノテクノロジー・材料共通基盤技術検討WGの運営について」より抜粋)

ナノテク・材料WGの設置趣旨と検討体制

参考

共通基盤技術検討WGにおける検討フロー（ICT及びナノテクノロジー・材料 共通）



※重点化課題検討タスクフォース(TF)以降の会議体については今後検討